消えゆく街ふる里

現在官居アこミヨ」が 都会で建っている
ようだ 三十階とか四十階 そんなのは言って
災害の時 どうするのかと心配する
現在住んでいる所では官居アこミヨ」は
しかし小居居がなく 空くビル」や駐車場に
なっている 物置クリニック」も そして
墓家所もなくなってしまった
友人がかってせわになった お寺をたずねた
時のはなしをしてくれた

まず最寄りの駅を降りバス停をさがした
がなかなか見つからない 発車二分前にやっ
とさがしあてた ずっかり駅前が変ってしま
ったようだ お寺につき住職と面会 打合せが
なんとなく この すまでは お寺もたちゆかなく
なるとつらい話をうかがった
その ことを祇園館へ行く前に会社をしたいと居居を
さがしたが シャッター通りになっていてやっ
とやっと ガンバメ」を買って ホッ
の祇園へ行った その祇園のとき 客は

館

友人だちだった

母が亡くなったずいぶん昔のにぎやかいは なく

寂しかった

と話してくれた

こんな所が日本中にあちこちあるとしたら どうなるのだろう

都会には家賃がこうとうしかふえ ふる里は

さびしい

都会はすべて同一つくりの集団住宅 で

人は都会に集まる

山が多い山が多い田畑が多い 春節ごとの

ふぜいが多いのは 人けいきい

成る里にかえると 生活が変ったから

と村人は言っていた